

赤旗まつりに15万人

利根沼田から大型バス2台など百数十人が参加



中央舞台 志位委員長の演説を聞く利根沼田から参加のみなさん

11月1日～3日までの3日間、東京都江東区の夢の島公園で、4年ぶりに開催された第41回赤旗まつりは、約15万人の参加で成功しました。利根沼田からは大型バス2台と電車などで約150数人が参加しました。

今回の赤旗まつりは、楽しく元気の出る集いとして、また、安倍政権打倒の一代政治集会として、何よりも昭和村議選などの中間地方選挙及び沼田市議選など来年のいっせい地方選挙の勝利と跳躍台として開催され、井之川博幸市議、大東宣之市議、林幸司村議など議員・候補者と後援会のみなさんとの親睦と勝利への意思を固める場となりました。



八代亜紀をバックに井之川市議

大型バス2台が参加した2日は、約8万人の参加があり大混雑しました。中央舞台では、メインの志位委員長の演説の後、八代亜紀さんが熱唱し、参加者が「生亜紀」に熱狂的な声援を送りました。物産展では、群馬から焼きまんじゅうなどが出店していました。

住みよい沼田市をめざすアンケートにご協力ください！

日本共産党井之川博幸事務所では、このたび表記のアンケートを市民のみなさんをお願いすることになりました。ぜひご協力ください。

井之川議員パブリックコメント拡充を要求

市民の意見を行政が吸い上げる方法の一つに、パブリックコメント（市民意見提出手続き制度）があります。沼田市は、行政改革大綱実施計画の中で市民協働の推進として、各種審議会等における女性委員の登用の推進とパブリックコメントの導入の推進を掲げています。



倉庫のようだと
いわれている
生方記念文庫

しかし、沼田市における重要な施策、例えば12億円もかけて建設した沼田中学校校舎や上之町に再建した生方記念文庫などはパブリックコメントにかけませんでした。その理由は、パブリックコメントを規定している要綱概要では、「市の重要な計画等の意思決定過程における市民参画の拡大並びに公正の確保及び透明性の向上を図り」となっていますが、実際には男女共同参画計画や、交通安全計画、介護保険事業計画、地域福祉計画など社会福祉関係の「計画書」をつくるという範囲でしか行われていません。先ほど述べた沼田中学校の新校舎建設計画や生方記念文庫新築計画など建物そのものや利用計画はその対象にしていません。その結果、沼田中学校の新校舎に設置した太陽光発電設備は数kw程度、生方記念文庫の壁の色は真っ黒で倉庫のようだとされています。

今回、グリーンベル21を市が買収し、市民のための利活用を図る計画を立てられようとしています。このグリーンベル21の利活用計画立案に際して、井之川議員はパブリックコメントを実施せよと強く要求しています。

第61回沼田市文化祭開催



中央公民館で開催された第61回沼田市文化祭

第61回沼田市文化祭が、1日から3日間にわたって中央公民館をメイン会場に、沼小屋内体育館などで開催されました。

2014年11月9日 No.724

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料